

平成29年1月11日

第3回福島大学環境放射能研究所研究活動懇談会 ～新田川・真野川水系の現状～ 開催について

今年度より本研究所の研究活動にご協力をいただいている地域住民の方や行政、研究機関の方々に向け、研究活動懇談会を行っています。第3回目となる今回は南相馬市での開催となります。

本研究所からだけでなく、福島県内水面水産試験場や国立環境研究所で行っている新田川、真野川、その流域での研究活動について報告させていただいた後、参加者のみなさんからご意見を伺うための懇談会を予定しております。

●日時：平成29年1月27日(金) 13:30～16:30 (受付13時より)

●会場：南相馬市役所本庁舎2階

●内容

1. 本研究懇談会の概要と目的について

和田敏裕(環境放射能研究所 准教授)

2. 新田川を流れるCs-137について

脇山義史(環境放射能研究所 講師)

3. 新田川水系、真野川水系の河川における魚類の¹³⁷Cs濃度

森下大悟(福島県内水面水産試験場)

4. 新田川水系、真野川水系の湖沼における魚類の¹³⁷Cs濃度

鷹崎和義(福島県内水面水産試験場)

5. はやま湖への放射性セシウムの流入と蓄積状況について

林 誠二(国立環境研究所)

6. 参加者と発表者による意見交換

※入場無料、事前申込不要です。

(お問い合わせ先)

福島大学環境放射能研究所

電話：024-504-2114

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

第3回 福島大学環境放射能研究所 研究活動懇談会 ～新田川・真野川水系の現状～

平成29年

1月27日(金) 13:30～16:30

会場 南相馬市役所本庁舎2階

対象 地域の皆様、行政機関、研究機関職員

入場無料
事前申込不要

内容 新田川、真野川、その流域で
行っている調査研究活動について報告します

1. 本研究懇談会の概要と目的について
和田敏裕(環境放射能研究所 准教授)
2. 新田川を流れるCs-137について
脇山義史(環境放射能研究所 講師)
3. 新田川水系、真野川水系の河川における魚類の¹³⁷Cs濃度
森下大悟(福島県内水面水産試験場)
4. 新田川水系、真野川水系の湖沼における魚類の¹³⁷Cs濃度
鷹崎和義(福島県内水面水産試験場)
5. はやま湖への放射性セシウムの流入と蓄積状況について
林 誠二(国立環境研究所)
6. 参加者と発表者による意見交換

主催／福島大学環境放射能研究所
共催／南相馬土地改良区(水土里ネット南相馬)

お問い合わせ／TEL(024)504-2114
メール ier@adb.fukushima-u.ac.jp

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/>